

技術委員会・SD小委員会情報

CALLERLAB ベーシック&メインストリーム、動作の定義改定

このたび CALLERLAB より、「メインストリーム ダンス プログラム動作の定義」書き換え作業の結果の一部が発表されましたのでご案内します。(2019年11月2日付け改定発表)

CALLERLAB では、定義の書き換え作業を、動作表記の分かりやすさ、標準化に努め行っており、各動作の記述を、1.動作名、2.動作を始める隊形、3.コール例、4.動作、5.動作を終わる隊形、6.タイミング、7.スタイリング、8.注釈の8つの形に整理し、2008年から順次発表しています。

今回の発表は、「メインストリーム ダンス プログラム動作の定義」の16.Spin Chain Thru (スピン チェイン スルー) 19.Recycle (リサイクル)、の2つです。

変更点は、次の通りです。

**16.Spin Chain Thru (スピン チェイン スルー)**

■次のように書き換えられました(要約)

- 動作やスタイリングなどには大きな変更はありません。
- コメントとして、以下が記載されました。

新たにセンターに入ったダンサーが動作を終えるまで間に、エンドになったダンサーに他の動作を指示してもよい。(例: Spin Chain Thru; Ends Circulate Twice)

Spin Chain Thru は、“All Turn 1/2, Those who meet Turn 3/4, Those who meet Turn 1/2, Those who meet Turn 3/4” とも踊られる。これを考えに入れて、コーラーによっては、Spin Chain Thru をギミック(特異な動き)としてアラモ リングから行うこともある。

このコールをギミックとして使うとき、コーラーは、どのダンサー ペアから動作を始めるか指示しなければならない。

(例: Start with the Right and Spin Chain Thru)

**19.Recycle (リサイクル)**

■次のように書き換えられました(要約)

①動作:

改定前: ウェーブの外側の人 が Cross Fold (クロス フォールド) を行い、中央の人がその後ろに Fold(フォールド) して入り、そのままついて行って内側を向き、2組の向かい合っているカプル隊形 となり、動作を終わる。

改定後: ウェーブの外側の人 が Cross Fold (クロス フォールド) を行う。その間に隣りにいたセンターの人はその外側の人 の後ろに Fold(フォールド) をして入り、そのままついて行き、横並びとなって、2組が向かい合ったカプル隊形 となって、動作を終わる。

- またコメントとして、以下の記載もされました。  
向かい合ったカプルの規則は適用されない。  
向かい合ったカプル隊形からの「Recycle(リサイクル)」のコールは、メインストリームプログラムの一部ではなく、異なった「動作の定義」になる。

以上です。

今回の書き換えで、2008年から行われていた、B、MSのリライトプロジェクトの定義部分に関しては、終了となりました。

(付加細目：Additional Detail は、いくつかの項目が残っています)

これに伴い、日本語訳版も版を改め、それぞれ

- ベーシック ダンス プログラム 動作の定義 分割第8版
  - メインストリーム ダンス プログラム 動作の定義 分割第8版
- としてリリース致しました。

詳しくは、S協ホームページ、または、CALLERLAB ホームページでご確認ください。

S協ホームページ：スクエアダンストピックス欄

URL： [http://www.squaredance.or.jp/sd\\_topic.html](http://www.squaredance.or.jp/sd_topic.html)

CALLERLAB ホームページ：Dance Program Documents 欄

URL： <http://www.callerlab.org/Dance-Programs>

以上

<技術委員会・SD小委員会>